



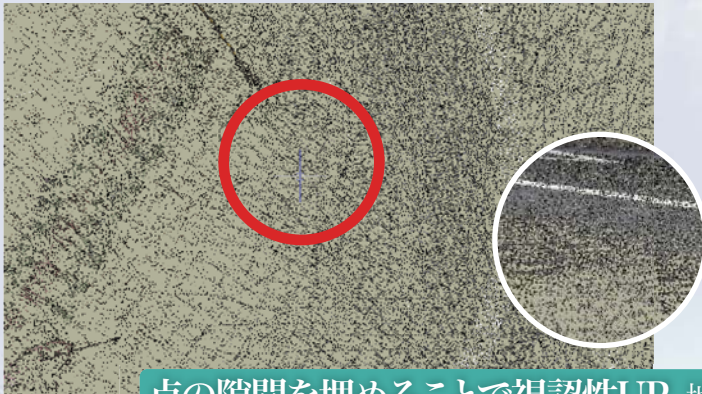
ボールド点群テクノロジー
[Balled Point Cloud Technology]

こんなお困りごとありませんか？

点群が薄くて見づらい

図化の効率を上げたい

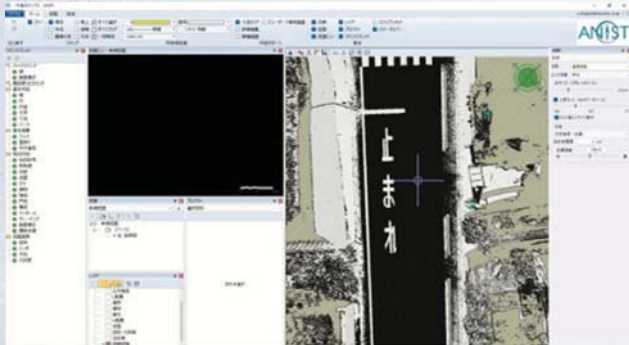
地形地物を可視化するボールド描画 (特許出願中)



点の隙間を埋めることで視認性UP 地形や地物をより明瞭にし、その場で結線可能です。

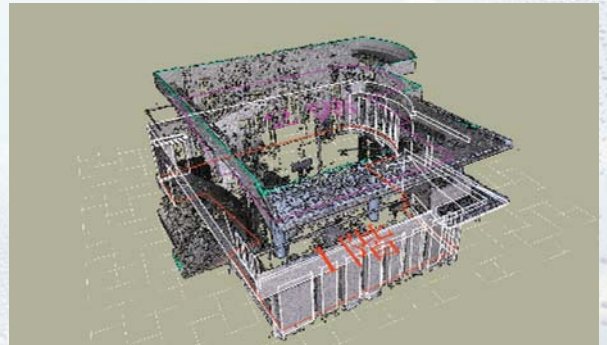


点群色の傾向から白線・特殊線を追跡結線



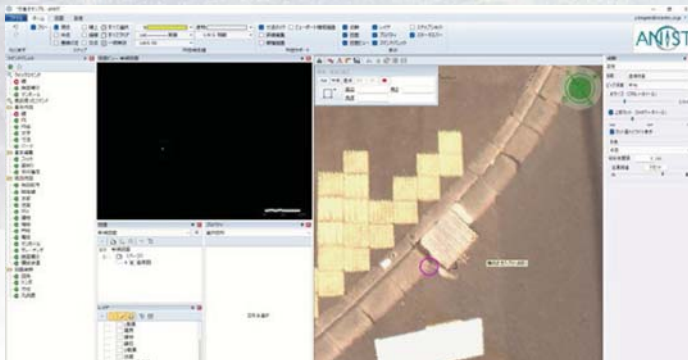
道路ラインやセンターライン、特殊線の自動結線
高低差のある道路縁や、白黒差のある路面白線をワンクリックで追跡する機能です。

上部・下部の同時カットで局所編集



地表からと上の階を同時に表示OFF
編集に必要な点群領域を自在にコントロールし、調査図面を作成 (画像は建物各階の外壁形状図作成)

均一な図面品質になるCADコマンドの充実



誰が編集しても均一な品質をめざして 柵・マンホールなどの二次製品構造物の「長さ推定」・「作図」が同時に可能な「寸法ガイド」



ANIST-Modeler

点群・地形図から現況モデリング

ANIST-Modeler

ANIST-ModelerはTLS・UAV・MMSなどにより観測された点群データを利用し、現況モデリングを行うツールです。作成可能なモデルデータは、路面を含めた地形、建物、構造物など、点群から視認可能な全ての地物が対象となります。また、ANISTなどの図形データを利用したモデリングにも対応しており、作業時間の短縮と業務効率の向上に貢献します。

作業フロー

取り込む

LAS / PTSなどの点群データを読み込み

見やすくする

ポールド点群や上部下部カットで視認性UP

作る

自動モデリング+手動モデリングを両立

整える

移動、分割、変形テキストチャで仕上げ

書き出す

DXF/OBJ/IFC/gITF /CityGML等で出力

ANIST(平面図)データを活用したモデル作成の流れ

1 ANIST-Modelerを起動

ANIST-Modelerを起動し、モデル作成の準備を行います。



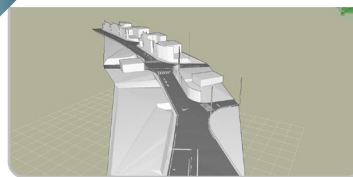
2 ANISTデータ読み込み

ANISTで作成した平面図データを読み込みます。



3 自動モデリング

読み込んだ平面図データから、自動である程度の3Dモデルを生成します。



4 モデル編集・仕上げ

生成されたモデルを編集・修正し、より精度の高いモデルに仕上げます。



数値地形図(DM)データを活用したモデル作成の流れ

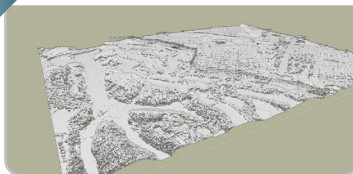
1 点群データ読み込み

点群データを読み込み、標高情報や地物高さ取得の基礎データを準備します



2 DMデータ読み込み

数値地形図(DM)データを読み込みます。



3 自動モデリング

DMコードと点群情報から3Dモデルを自動生成します。



4 モデル編集・仕上げ

路面生成や不足箇所の補完を行い、完成モデルへ仕上げます。



対応データ形式

入力データ

ANISTで作成した平面図データ/DXF/DWGファイルや数値地形図(DM)データ/LAS/LAZ/PTS/E57に対応

出力データ

DXF/OBJ/IFC/gITF/CityGMLなど各種フォーマットに対応